

「水路トンネル無人点検ロボット」を北陸技術交流テクノフェア 2015 に出展

施設工学研究領域 施設機能担当 主任研究員 森充広

10月8～9日に福井県産業会館において開催された「北陸技術交流テクノフェア 2015」に、「水路トンネル無人点検ロボット」を展示いたしました。この技術は、農林水産省の官民連携新技術研究開発事業「農業用水路トンネル・サイホンの不断水調査・診断 技術の開発」により開発したもので、断水が困難な農業用水路トンネルの内部を無人で点検するロボットです。今年度の農業農村工学会において優秀技術賞を受賞いたしました。今回の出展は、テクノフェア事務局の福井商工会議所からオファーを頂き、「特別展:日本を変える!次世代型ものづくり」のブースのひとつとして展示させていただく機会を得たものです。

ブースでの展示のほかに、1日2回、デモステージでロボットを紹介する機会をいただきました。水路トンネル側壁に見立てたプラスチック板を利用して、ロボット全体が回転しても、カメラが側壁を見続ける自動追尾機能を紹介しました。学会発表と違い、進行役とのやりとりを通して内容を説明するスタイルでしたので、とても緊張いただきましたが、一度に大勢の方にデモを見ていただくことができ、効果的なPRができました。特に、水路トンネルを管理されている電力会社や、調査の実務を担当されているコンサルタントの方との意見交換ができ、有意義でした。なお、今回出展されている多くのブースは、北陸管内に拠点を置く精密機器、情報通信、建設、化学、環境・エネルギー等の分野の企業、大学からの出展でしたので、茨城県から農業関連で出展した農村工学研究所の存在や、研究所全体の研究内容にも関心を持っていただけたようでした。

最後になりますが、今回の出展を助めていただきました福井商工会議所の関係者の皆様、ブースに立ち寄っていただいた皆様、展示・説明に協力頂いた官民連携新技術研究開発組合(日本工営(株)、ウォールナット(株))ほか、関係各位に厚く御礼申し上げます。



特設ステージでのデモンストレーション



ブースでの説明